

第4回上牧町まちづくり基本条例制定検討委員会
議 事 録

開催日時	平成25年 9月 6日(金) 午後 7時00分から
開催場所	上牧町役場 3階 委員会室
出席者	委員 10名
欠席者	委員 2名
傍聴者	2名
事務局	まちづくり推進課 大東課長、福西課長補佐、松井係長、野村主事
次第	1 開会 2 条例案「まちづくり協議会関連条文」の検討について 3 その他 4 閉会

議事の概要

●条例案の検討

【まちづくり協議会について】

- ・まちづくり協議会の役割やミッション等について、町民意見をまちづくり全体に反映させる。特に町行政や議会にも反映させるという仕組みとして考えていきたい。
- ・もう少し従来の自治会機能や地域の維持機能が弱退化しているので、それを補っていくような、あるいはそれに代わるような仕組みとして考えられないか。
- ・具体的にまちづくり協議会で何をするのか。どういったところで活躍できるのか。また、それと合わせて規模やミッションということが適切なのかどうかということも関連してくる。
- ・まちづくり協議会の組織をどう考えていくのか。基本的にはネットワーク型の組織として、町民、地域団体、NPO、ボランティア等がこのまちづくり協議会に参加してもらおう。行政とは別に町民全体が集まってくるような場として考えていきたい。
- ・上牧町がどのような住民自治を実体化したいかによって、もっと議論するべきである。段階に応じたあり方を見られるような柔軟さがあるといいと思う。
- ・まちづくり協議会の構成団体は、全分野の市民団体の代表は必ず入れる。各世代の代表、男性女性の比率、各自治会の代表である。

《他の市町村の状況》

- ・伊賀市は、合併協議で3年という時間をかけて制度設計をした。
- ・生駒市は、モデル地区を作り努力しているが、いまだ形にはなっていない。
- ・大阪市は、地域活動協議会を橋本市長のもとに号令をかけて、平成24年度中に総合型地域活動協議会を小学校区単位で作らなければ、これまでの各種団体の補助金を減額するという脅しをかけるようなやり方をしている。
- ・旧柘植町は、国土交通省の地域づくり大賞をもらって、モデル地区となり牽引している。
- ・福岡市、北九州市は、小学校区で活動が始まってから10年が経っている。
- ・神戸市は、4段階モデルとあって、①緩やかな連携で、皆で話し合い、②地域づくり計画作成のためのコンサルタントの派遣、③自律のための協定の締結、④自律（7～8つの団体がある）
- ・名張市美旗地区、神戸市、高松市は有償で事務局長を雇っている。

《まとめ》

- ・将来の姿、まちづくりを進めていく姿として、住民自治や住民参画をさらに活発にしてまちづくりを進めていくという観点からもまちづくり協議会的なものがこの条例で謳い込まれるといいという点で委員の同意が得られた。行政、議会、町民が参画をして、このまちづくりを進めるという基本的な理念を実現していけるような仕組みが将来に渡ってできるという点でも委員の了解が得られた。
- ・まちづくり基本条例の役割としては、理想像を言葉やイメージできちんと示しておく。
- ・町政参加、町民参加というところの仕組みづくりや議論も必要である。機能を一緒にするのか、別にするのか、少し検討が必要であるが、まちづくり協議会の議論と合わせて、町民参加の仕組みや考え方をこの条例の中でも掲げておくことが必要と考える。また、参画と協働の章もあるが、これに加えてどういった町民参加の方法があるのか検討していく必要がある。

《結論》

まちづくり協議会については、理想的、理念的なところで留めて、具体的な内容については、今後、条例ができた後に実態をきちんと埋めていく。ただし、条例で謳う以上は責任を持って、この実現に向かって進めていくという考えとする。